

## 【佐賀県立伊万里実業高等学校】文理融合型教育による「いまりん6次化」実践プログラム

## 目的

- 地域から求められる専門高校として、地域資源を活用した「6次産業化」を実践できる人材育成が必要
- 多様化する進路ニーズに適応した学びが必要

## カリキュラム概要

6次産業化人材を育む文理融合型の学科・教科等横断による専門教育を推進する実業系高等学校の新しい教育モデルの確立と普及

## 新しい教育方法

学科の枠を超えた学び合いと外部講師の活用

## 伊万里実業高校コンソーシアム

高等研究機関(大学等)

専門家・実務家等

地元自治体等

地元住民・企業等



コーディネータ  
連携・協働

商業科

情報  
処理科

森林  
環境科

生物  
化学科

伊万里実業高校  
農林キャンパス  
商業キャンパス

フード  
ビジネス科

## 令和6年度の目標

- 学科の枠を超えた学び合いを行うことで、多様な専門教科に興味・関心高めるとともに、高い専門性の融合による、多様で幅広い視野をもって課題を解決する人材を育成する。
- 外部講師を積極的に活用することで、学校の枠を超えた多様で幅広い視野をもって課題を解決する人材を育成する。

## 取り組み状況

## 【5学科共同課題研究（竹プロ）】

全学科から総勢25名の生徒が協力しながら、放置竹林問題の解決に向けた研究に取り組んでいる。意見交換の場では、Zoomの活用などDXの導入により、円滑なコミュニケーションと効率的な情報共有が実践できている。

## 【課題研究発表会】

両キャンパスの生徒が課題研究の成果を発表することによって、農業と商業を学んだ生徒同士の学び合いを目指す。

## 【ビジネスプランコース】

外部講師を活用した課題研究をとおして、地域社会と連携しながら6次化の視点を有する人材育成を目指すことを目的に授業を実施した。



(図1)  
農業科の生徒が商業科の生徒に測量を教える様子



(図2)  
商業科の生徒が農業科の生徒に簿記を教える様子

## 成果と課題

- 両キャンパスの生徒が共同研究を行うことで、各科の課題を共有し、相互理解が深まっている。また、実習や実験を通じた経験の蓄積が多様な視点の育成に寄与している。
- コーディネーターを活用した課題研究の取組「ビジネスプラン」における生徒の多様性の伸長などアントレプレナーシップの育成に成果が表れている。
- 今後は、今まで以上に実現可能な問題解決策となるように、講話や企業訪問などを実施することで生徒の思考を深める。

【宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校】 VUCA時代を生き抜く野性味あふれる「価値創造人材」の育成

国際社会で活躍する人材の育成

野性味や冒険心の育成

主体的に生きる人間の育成

デジタル×リアル ⇒ 4D (新次元の教育活動)

リアルな「学びの時空間」

Design × Dialogue

探究力を育む 授業デザイン 学びの森に根付く 対話の文化

教科横断型授業 学校設定科目 遠隔協働授業

寮での「学びあい」 哲学対話 地域との協働

デジタルな「学びの時空間」

Data × Digital

データによる 自己の振り返り 学びの森版 「未来の教室」

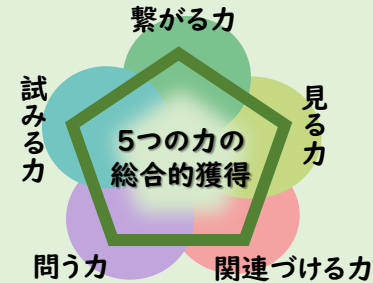
Ai-GROW 数理探究アセスメント ICE-Qs

1人1台端末 VR・3Dプリンタ メタバース・ドローン



本事業を実施する目的・目標／具体的な取組

VUCA時代を生き抜く野性味あふれる「価値創造人材」の育成



- 令和6年度 成果と課題
- 学校設定科目「学際探究」「学際探究基礎」の開発
  - 文理融合・教科横断的型授業の「日常化」に向けた教務部・研究部協働研修
  - コンソーシアムとオンラインを活用した日常的な協働
  - 「野性味」「価値創造人材」の定義・解釈の明確化
  - 事業終了後を見据えて自走に向けた仕組み化
  - 非認知能力育成の効果検証

成果検証 評価

- OAIアセスメントによる自己・相互評価
- 数理探究アセスメントによる「創造力」の評価

21世紀型スキルの育成

- 探究力を育む学校設定科目の開発
- 文理融合・教科等横断的な学びの推進
- オンラインを活用した大学等との連携

現状と課題

- 教科教育と探究活動との分断・孤立化
- 学校外の研究機関等との連携機会減少
- コロナ禍による校外学習の機会減少

関係機関との連携・協力体制 (コンソーシアム)

